

下水協発第596号  
平成29年12月1日

各位

東京都千代田区内神田2丁目10番12号  
(内神田すいすいビル)  
公益社団法人 日本下水道協会  
理事長 岡久 宏史  
(公印省略)

**第55回下水道研究発表会  
論文(口頭・ポスター)発表の申込について**

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本会の業務に対しまして、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本会では、別紙のとおり、平成30年7月24日(火)～26日(木)の3日間、北九州市(西日本総合展示場)において、「第55回下水道研究発表会」を開催致しますので発表者の募集をいたします。

本発表会は、昭和39年から毎年開催している下水道界で最大の研究発表会であり、国、地方公共団体、研究機関、民間企業等の研究者、実務者が、下水道に関連する技術や下水道経営などに関する日頃の研究成果や実務事例を発表し、相互に情報交換、交流を図ることで、下水道事業の発展並びに下水道技術の進歩・向上を図ることを目的としています。

また、海外水ビジネスに取り組む下水道界の人材育成、諸外国との交流を目的に英語部門を新設いたしました。

前回の発表会(平成29年8月)では、412件の口頭やポスター発表のもと、2,145人を超える聴講者との間で熱心な質疑応答、情報交換がされました。

つきましては、本募集にあたり、貴庁(社)関係職員の発表参加方につき、よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。また、貴庁(社)の出先機関への周知方につきましても、併せてよろしくようお願い申し上げます

詳細は、別紙「第55回下水道研究発表会の論文発表申込要領」をご参照ください。

敬 具

## 第55回下水道研究発表会 論文(口頭・ポスター)発表申込要領

### 1. 下水道研究発表会の目的

本発表会の開催目的は、公共団体や学校、民間の下水道事業に携わる研究者や実務者が、経営・計画、雨水対策、建設、維持管理、水処理技術、汚泥処理技術、計測・制御等の分野における研究成果の発表、実務・事例報告の発表を通して、情報交換し議論することにより、下水道事業の発展に資することを目的に開催するものです。

### 2. 発表の内容

下水道に関する研究成果の発表および実務・事例報告とし、未発表のものとします。ただし、英語部門では、英語で未発表のものとして、発表内容が宣伝的なもの、他者を誹謗中傷するような内容と見なされた場合は発表できません。

発表の可否に関する判断基準は「6. 応募論文の発表可否に関する判断基準」をご覧ください。

なお、発表形式として、「口頭発表」、「ポスター発表」の2種類があります。それぞれの特徴を考慮して選択してください。

### 3. 発表者の資格(申込時)

- (1) 本会会員（会員団体に所属する下水道関係者を含む）
- (2) 関係官庁、同付属研究機関及び大学等の教授等
- (3) (2)に該当する大学等の教授等の教室に所属する学生（高専、大学、大学院生）
- (4) 上記(1)～(3)以外に、下水道の研究等業務に携わっている方

### 4. 開催までのスケジュール

#### (1) 発表申込期間

口頭・ポスター発表申込期間（論文要旨の提出）

平成29年12月1日(金)～平成30年2月14日(水) 厳守

#### (2) 論文提出

論文提出期間（ポスター発表の方も講演集に登載するため、論文を提出していただきます。）

平成30年3月1日(木)～4月13日(金)

#### (3) 参加者募集

研究発表会への事前参加者募集期間(発表者本人については、あらためての申込は不要です。)

平成30年5月下旬～7月上旬

#### (4) 論文講演集

論文講演集を発刊いたします。

### 5. 第55回下水道研究発表会の概要

- (1) 期日：平成30年7月24日(火)～26日(木)の3日間
- (2) 場所：西日本総合展示場（福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30）
- (3) 発表は、日本語による口頭発表、ポスター発表、英語による口頭発表、ポスター発表の4部門となります。

<p><b>口頭発表部門</b></p> <p>①発表時間：1編 15分（発表10分、質疑応答5分）</p> <p>②募集編数：約350編</p> <p>③発表方法：パワーポイントが使えます。発表者等が操作してください。</p> <p>④口頭発表部門は、「特定課題セッション」と「通常セッション」を設けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「特定課題セッション」は、「通常セッション」の枠を超えた研究や複数のセッションに関連するもの、あるいは話題性のあるキーワードに関するものを集めたセッションです。</li> <li>・「通常セッション」は、11の分野に分けて募集します。具体的なセッション名は巻末の「下水道研究発表会セッション名一覧」をご覧ください。</li> <li>・発表時間、発表方法等は、「特定課題セッション」並びに「通常セッション」とも同じです。</li> </ul> <p><u>※応募内容等によりお申し込みいただいたセッションは「下水道研究発表会企画運営委員会」にて審査後、変更となる場合もあります。なお、その際は発表者本人にお知らせ致します。</u></p> <p>⑤発表言語は日本語とします。</p>
<p><b>ポスター発表部門</b></p> <p>①発表方法：発表会場（一つの会場）で複数の発表を同時に行い、発表者が製作・持参したポスターを展示・説明し、来場者と自由に討論します。</p> <p>②発表時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター掲示は7月25日（水）～26日（木）です。</li> <li>・ポスター発表日は、7月25日（水）です。</li> <li>・ポスター掲示期間中は、参加者の自由な閲覧時間とします。発表者は少なくとも、発表時間中は必ず自分のパネルの前に控えてください。</li> <li>・発表時間以外にも掲示期間内での発表は自由です。また、他のポスターや口頭発表に参加することができます。</li> </ul> <p>③募集編数：約40編</p> <p>④ポスターサイズ：縦120cm×横90cm（今年より変更になりました）</p> <p>⑤発表言語は日本語とします。</p>
<p><b>英語口頭発表部門</b></p> <p>①発表時間：1編 20分（発表15分、質疑応答5分）</p> <p>②募集編数：約30編</p> <p>③発表方法：パワーポイントが使えます。発表者等が操作してください。</p> <p>④口頭発表部門は3つのセッションを設けています。</p> <p><u>※応募内容等によりお申し込みいただいたセッションは「下水道研究発表会企画運営委員会」にて審査後、変更となる場合もあります。また、口頭発表からポスター発表に回ってもらうことがあります。なお、その際は発表者本人にお知らせ致します。</u></p> <p>⑤発表言語は英語とします。</p>
<p><b>英語ポスター発表部門</b></p> <p>①日本語によるポスター発表部門（①～②、④）同様</p> <p>②募集編数：約20編</p> <p>③発表言語は英語とします。</p>

(5) 講演集への掲載

論文を「下水道研究発表会講演集」に掲載いたします。

(6) 優秀発表の表彰

本研究発表会企画運営委員会によって最優秀発表者及び優秀発表者等、選出する予定です。ただし、発表予定者と当日の発表者が一致しない場合は、審査の対象外となります。

(7) 下水道展'18北九州

期 日：平成30年7月24日（火）～27日（金）4日間

場 所：西日本総合展示場（福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30）

## 6. 応募論文の発表可否に関する判断基準

### (1) 基本的考え方

- ・特定の団体、製品、工法、新技術等を宣伝することを目的とした論文は発表できません。
- ・特定の団体、製品、工法、新技術等を誹謗中傷する内容を含む論文は発表できません。
- ・一つの論文として発表できる研究内容を分割した論文は発表できません。
- ・他の論文や発表と独立した体裁としてください。

### (2) 宣伝目的とみなす判断基準

- ・宣伝を目的とした論文とは、特定の団体、製品、工法、新技術等に関して、客観的、合理的な根拠を示すことなく、これらの優秀性、優位性、有効性等について具体名を挙げ論述しているものです。ただし、以下の場合には発表を認めます。

①特定の団体、製品、工法、新技術等の紹介が目的であっても、これらの優秀性、優位性、有効性等の客観的かつ合理的な根拠を明確に示しており、発表を通じ下水道事業の発展に資するものと認められる場合。

②特定の団体、製品、工法、新技術等の名称を記述しているが、単に論文の主旨をわかりやすく伝えるために用いており、論文の本旨とは直接関係のないもの。

上記①、②に該当した論文については「下水道研究発表会企画運営委員会」にて確認します。

### (3) 分割論文とみなす判断基準

- ・分割論文とは、一つ以上の論文に同じ母集団、方法、研究課題があるもので、一本の論文として報告できる研究成果を、発表可能な最小単位に分割して、同じ研究からそれぞれの論文として種々の研究結果を報告するものです。

ただし、以下の場合には発表を認めます。

①同じ研究方法、課題であっても、既発表論文の続報的な発表内容であり、既発表と同年度の発表でないもの。

(4) 発表可否の判定は、「下水道研究発表会企画運営委員会」が行います。

## 7. 発表者の留意事項

(1) 「発表者」とは、発表会当日壇上で発表する1名を指します。共同研究者で、研究発表会に参加を希望される方は、5月下旬に募集を開始する一般聴講者としての申込が必要になります。

(2) 申込み編数は口頭発表部門、ポスター発表部門を通じ1人1編に限ります。ただし、英語による（口頭またはポスター）発表される方は、日本語による（口頭またはポスター）発表とあわせて1人2編の発表を可能とします。

(3) 発表プログラムは、発表申込時に提出された論文要旨、キーワードを基に研究発表会企画運営委員会において編成いたします。プログラム作成後に、個人都合によるプログラムの変更等はいりません。

(4) 特許に係わる発表については、事前に特許申請を済ませてください。

(5) 発表にあたっては、パワーポイントのみ使用ができます。操作は発表者等が行ってください。パソコンおよびプロジェクターは会場に用意してあります。

なお、データ作成等詳細については、別途、本協会ホームページでお知らせいたします。

(6) 講演集へ掲載された時点で、論文の著作権は本会に帰属（譲渡）することとなります。なお、投稿された著作者自らが、著作物の全文、又は一部を複製・翻訳・翻案などの形で利用する場合、本会は原則として、その利用を妨げません。また、第三者から、著作物の全文又は一部の複製利用（翻訳として利用

する場合を含む)の申し込みを受けたときには、特に不適切とみなされる場合を除き、本会は、これを許諾することができることとします。この場合、本会は、著作者に著作物利用の概要を通知します。

## 8. 優秀発表の表彰について

⇒今後HP及び、発表者への連絡事項に掲載

優秀発表者は、本会ホームページ並びに「下水道協会誌」に掲載致します。また、平成29年8月に開催した「第54回下水道研究発表会」における表彰者は以下のとおりでした。

(参考) 第54回下水道研究発表会 表彰者 (各賞区分毎に氏名の50音順)

### 【日本語発表】

	区分	発表題名	所属	氏名
口頭発表	最優秀賞	滞納債権の効果的な徴収方法について	堺市	矢野雄一郎
	優 秀 賞	人口減少下での汚水処理システムの稼働率を踏まえた維持管理費について	国土技術政策総合研究所	石川剛士
		雨水貯留管と合流改善用貯留施設のシールド工法による一括施工について	大阪府	大田健二
		大規模地下空間の浸水対策としての管内水位情報の有用性に関する一考察	関西大学	尾崎平
		雨天時簡易処理水を対象とした大腸菌数の実態把握と効果的な消毒手法に関する検討	(公財)日本下水道新技術機構	菊川哲生
		新規膜洗浄機構を用いた省エネ型MBRのパイロット試験	JFEエンジニアリング(株)	富田洋平
		底生甲殻類繁殖試験による道路排水中微粒子の有害性評価	東京大学	中島典之
		平成28年熊本地震における管路施設被害の特徴	国土技術政策総合研究所	深谷渉
		高速攪拌を利用した新型凝集装置の効果	水ing(株)	森田智之
		1,4-ジオキササン含有排水の生物処理技術の開発	大成建設(株)	山本哲史
ポスター発表	最優秀賞	多様な主体と協働した堺市の下水道広報	堺市	郷田秀章
	優 秀 賞	ウキクサを介した下水処理水からのバイオエネルギー生産	東北大学	岩野 寛
		沖縄県における再生水利用作物に対する消費者の購買意欲の推定	京都大学大学院	由藤聖利香

### 【英語セッション】

	区分	発表題名	所属	氏名
口頭発表	優 秀 賞	Innovative biogas production system in WWTP (B-DASH project)	(株)神鋼環境ソリューション	大山成人
		Methanogenic degradation of municipal wastewater by an anaerobic membrane bioreactor at room temperature	東北大学	陳 榮
ハイブリッドポスター	優 秀 賞	Maintenance cost based on the operating rate of Waste Water Treatment Systems under the Condition of a Falling Population	国土技術政策総合研究所	石川剛士
		Flushable Wipes:Clogging the US and the world	Water Environment Federation	Brianne Nakamura

## 9. 申込方法

(1) 下水道研究発表会専用のホームページ (<http://www.gesuikyoku.jp/kenpatu/>) 又は日本下水道協会ホームページの「下水道研究発表会」バナーからお申し込みください。

(2) 申込書をダウンロードしてください。必要事項をご入力いただき、

**添付ファイルでEメールアドレスkenpatu@gesuikyoku.jpまで送信してください。**ファイル名は、「所属団体名\_発表者名(例：〇〇市\_山田太郎)」としてください。

※申込書内の発表要旨及びキーワードは発表のセッションを決めるために必要となります。

なお、要旨につきましては後日発表プログラムを公開する際に発表内容の紹介にも使用いたします。

(3) ホームページをご覧になれない方は、事務局 (TEL. 03-6206-0284、FAX. 03-6206-0796) までご連絡ください。必要なデータをEメールで送信致します。

(4) **申込は、締切厳守してください。**

申込締切期限 平成30年2月14日 (水)

(5) **期限を過ぎた申込みはできません。**

※申込書に記載された個人情報、本研究発表会以外の目的での利用はいたしません。

なお、本発表会を活性化する手法として、発表論文の概要を、発表会開催前に業界紙に掲載しますので、掲載を望まれない場合は、事前に次の「11. 問合せ先」までお知らせください。掲載依頼は、本会から発表者に対して行い、概要に関する原稿は業界紙編集部へ提出していただくことを予定しています。

(ご注意)

- ・所定の内容に記入漏れ等がないよう、十分ご確認の上、お申し込みください。
- ・お申し込み後の「発表題名」と「論文要旨」の変更はできません。
- ・受付完了のご案内をEメールでご連絡いたします。必ず保存してください。発表者には「受付番号」を交付し、受付完了メールに記載しますので、保管してください。本論文の申込、研究発表会への参加についてもこの「受付番号」を使用します。
- ・1月下旬に研究発表会発表者専用のサイトをオープンします。発表者に必要な情報及び連絡事項を順次掲載致します。このサイトのアドレスは、発表者への受付完了メール内にてお知らせ致します。

## 10. 発表に関わる費用とお支払方法

(1) 口頭・ポスター発表にかかる費用は、下記のとおりです。 (消費税8%込み)

会員区分 (申込時)	口頭・ポスター発表者			英語部門
	発表料計	発表料内訳		発表料
		申込料 (3月請求)	参加料(8月請求)	
① 正会員(地方公共団体、公社等)	14,400円	4,100円	10,300円(後納)	6,000円
② 特別会員(個人)				
③ 関係官庁及び同付属研究機関、大学等の教授等				
④ 賛助会員(会社)	18,500円	4,100円	14,400円(後納)	8,000円
⑤ 学生(③に該当する大学等の教授等の教室に所属している者)	2,100円	1,050円	1,050円(前納*)	2,100円
⑥ 非会員	28,800円	8,200円	20,600円(前納*)	12,000円

注)・研究発表会講演集は、発表料の中に含まれておりません。5月下旬より発表者向けに募集を開始いたします。

・英語部門は、今回特別価格(学生を除く)を設定いたしました。

・(前納\*)の学生及び、非会員には、3月に一括「発表料計」の請求をさせていただきます。

(2) ①の正会員～④の賛助会員の方は、3月中旬に「申込料」の請求書を送付しますので、請求書が到着後1ヵ月以内にお振り込みください。

また、「参加料」等の請求は、研究発表会終了後に送付いたします。

(3) ⑤の学生及び⑥の非会員の方に関しては、申込料と研究発表会への参加料を併せて請求をさせていただきます（3月中旬に請求書を送付。納付は請求書到着後1ヵ月以内）。

(4) 英語部門での発表料は、発表料として一括4月に請求書を送付いたします。申し込み後のキャンセルについては、返金いたしませんのでご注意ください。

(5) 請求書の内容変更

請求書（①～⑥の方）は、原則として発表者ごとに所属団体宛てにお送りします。

なお、次の場合は、申込フォームの「請求書の宛名、送付先等が発表者と異なる場合」欄にご入力ください。

- ・請求書の宛名は、「〇〇県」、「〇〇市」、「〇〇会社」、「〇〇大学」等の自治体名、会社名、大学名等でのみ発行しますが、それとは異なる宛名をご希望の場合
- ・複数名を一括してお支払いになる場合
- ・請求書を発表者の住所と異なる場所へ送る場合
- ・特別会員の方は、請求先を本人宛、送付致します（変更不可）。

(6) 「発表申込料」（①～⑥の方）は、お申し込み後に発表を取り消した場合、事務手数料（キャンセル料）として発生します。

また、発表申込時の会員区分により、「参加料」を請求いたします。仮に、参加申込後、発表者の変更や、発表者の所属の変更が生じ、発表者の会員の区分が変更になった場合でも、申込時の会員区分に応じて、「参加料」を請求させていただきます。

例えば、「正会員」区分で参加申込をした後、転職等で所属が変更になり、民間企業（賛助会員）の職員となった場合も、発表申込時の区分「正会員」の金額での請求となります。

## 11. 問合せ先

公益社団法人 日本下水道協会 技術研究部 研修課 研究発表会係

〒101-0047 東京都千代田区内神田2丁目10番12号 内神田すいすいビル6階

TEL (03) 6206-0284 FAX (03) 6206-0796

## 「参考」

(1) 発表者への「受付完了メール」で発表に必要な情報を記載した専用サイトのアドレスをお知らせ致します。

(2) 論文の原稿提出期限は、平成30年4月13日（金）です。（締切日：絶対厳守）

なお、5月下旬に開催予定の座長会にて発表可否審査（上記6.の判断基準に基づく）を行います。その審査結果に基づく修正以外はできませんので、ご了承下さい。

(3) プログラムについては、5月下旬に参加者の募集を開始する際に公開いたしますが、例年、辞退・発表者の変更等の変更も予想される為、最終版を7月上旬に公開いたしますので、ご注意ください。

## 第55回下水道研究発表会 セッション名一覧

### ○日本語口頭発表部門

#### 1) 特定課題セッション（全7セッション）

セッション名
1. アセットマネジメント（事業管理計画）
2. 国際協力・海外展開
3. B C P・リスクマネジメント（地震・災害時のB C P、B C Pの実践・効果、被害想定など）
4. 震災対策（津波対策、液状化対策、放射能対応、支援対策、復興対策など）
5. 集中豪雨対策（都市浸水、内水氾濫のリスク評価とその被害軽減技術、浸水予測方法とその応用、浸水ハザードマップなど）
6. バイオソリッドの利活用（消化ガス利用、固形燃料化、肥料化など）／りん等有用資源の回収
7. 膜処理技術（膜分離活性汚泥法、ROなど）

#### 2) 通常セッション（全11セッション）

セッション名	キーワード
1. 経営・計画	経営、官民連携（PPP/PFI、コンセッション方式、指定管理者制度、包括民間委託）、財政、会計方式、法律、制度、広報、広聴、パブリックインボルブメント、事業計画、行政評価、人材育成、長期戦略、改築・更新計画、コスト縮減対策、人口減少対策、インターネット利用、その他
2. 雨水対策	水文、浸水対策（ハード、ソフト）、雨水流出抑制、合流式下水道の改善、その他
3. 環境・水リサイクル・水系水質リスク／理化学試験と微生物試験	流域管理、汚濁発生源、モニタリングとその解析、水生生物、再生水・雨水利用、化学物質管理（有害物質、PRTR、内分泌かく乱物質、PPCPsなど）、病原微生物対策、バイオアッセイ、物理的試験、化学的試験、生物学的試験、その他
4. 地球温暖化／省エネ対策	N <sub>2</sub> O対策、省エネ、温室効果ガス、低動力化、CO <sub>2</sub> 対策、エネルギー利用、（下水熱・水力・太陽光・風力）、L C A、その他
5. 管路（建設）	管路・ポンプ場・処理場の設計・施工、小規模施設、未普及対策技術、貯留施設、機械設備、電気設備、排水設備、監視制御設備、圧力管路システム、施設の環境対策、硫化水素対策、その他
6. ポンプ場・処理場施設（建設）	
7. 管路（維持管理）	臭気対策、防食、管更生、バルキング対策、改築改善、事業場排水対策、返流水対策、台帳システム、浸水対策、防藻対策、保守点検、清掃、硫化水素対策、不明水対策、その他
8. ポンプ場・処理場施設（維持管理）	
9. 水処理技術	下水処理、産業排水処理、窒素・りん除去、その他の高度処理、初期対策、消毒、微量化学物質の処理、清掃、その他
10. 汚泥処理技術	汚泥輸送、濃縮、脱水、消化、焼却、熔融、炭化、その他
11. 計測・制御	計装装置、診断技術、監視装置、システム制御、光ファイバー通信、その他

### ○英語口頭発表部門

セッション名
1. 資源再利用 Resource Recovery
2. 計画と実施事例 Strategy and Best Practice
3. サイエンスとテクノロジー Science and Technology